

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：特定疾患対策費

事業名 難病患者等居宅生活支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部保健医療課難病対策係 電話番号：058-272-1111 (内 2583)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 836 千円 (前年度予算額：836 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	836	679	0	0	0	0	0	0	157
要求額	836	679	0	0	0	0	0	0	157
決定額	836	679	0	0	0	0	0	0	157

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

難病患者に対する各種サービスを提供するため対応できるホームヘルパーを養成する。また、小児慢性特定疾病児童が在宅療養の際に必要な環境の支援を行う。

(2) 事業内容

○難病患者等ホームヘルパー養成研修事業 (実施主体：県)

ホームヘルパー養成研修及び難病等に関する知識を習得させるための特別研修を実施する。

○小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業 (実施主体：市町村)

日常生活を営むのに支障のある在宅の患者に対し、日常生活用具を給付する。

(3) 県負担・補助率の考え方

負担区分 国 1/2 県 1/2 (ホームヘルパー養成研修)

国 2/3 県 1/3 (日常生活用具給付)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額 (千円)	事業内容の詳細
委託料	250	ホームヘルパー養成研修事業
補助金	586	日常生活用具給付事業
合計	836	

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 難病患者のホームヘルプに携わる者に必要な知識、技法を習得させ適切なホームヘルプサービスを提供することを目的とする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目 標	達成率
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

当事業の内容は数値で表すことができないため、指標を設定することはできない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 ホームヘルパー研修 2 回開催、養成者数計 5 1 名
 日常生活用具：4 市（電気式痰吸引器、パルスオキシメーター等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 養成研修により難病患者のホームヘルプに必要な知識、技法を習得したことにより難病患者に適切なホームヘルプサービスを提供することができる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	難病患者特有の患者心理や事例等を組み込んだ研修が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	多様化する難病患者のニーズに対応した適切なホームヘルプサービスを提供するため本事業は必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	介護職員を対象とした各種専門研修を実施している県福祉事業団に事業委託することにより、効率化を図ることができている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>H29年度まで事業委託をしてきた県福祉事業団が受託困難とのことで、H30年度から新たな団体（医療法人）に委託して実施。実施状況を確認し、今後の委託継続について検討をする。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか。 <p>難病患者のニーズに対応した研修を継続できるよう体制を整備する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	